

企業とNPOのパートナーシップ支援事業
事業テーマ 応募用紙

様式1

企業名・団体名	特定非営利活動法人 ディスカバーブルー
業務（活動）内容	海の自然を紹介するイベント等の実施、海辺の地域活性化事業

事業テーマ名	いつまでもこの海と暮らしていくために、わたしたちができること。 ～Life with the Ocean かながわ～
テーマの説明	<p>神奈川の海は、マリンスポーツや海水浴、普段の散歩などを通して多くの人が訪れ、大変親しまれています。海は神奈川県民、特に沿岸地域に住む人々にとって、大切なアイデンティティです。</p> <p>しかし、そこに暮らす多様な生物や生態系については、学校でも扱われず、知る機会もないので、多くの人にきちんと理解されていません。</p> <p>まずは、目の前に広がる海の自然を楽しみながら知っていただき、その魅力を伝えることで、海を「まもるべき自分たちのもの」と考えてもらえる社会を構築したいと考えています。</p>
相手方に期待すること	<p>一人でも多くの方に「海や海の生物・生態系を知る驚きと喜び」を伝えてくれ機会を設けていただきたいと考えています。</p> <p>社員研修、顧客サービスとしての観察会、普及啓発のための共同商品開発、寄附付き商品の販売、活動の普及広報への協力、活動資金の提供等々。</p>
応募者が提供できること	観察会や講座等の企画・実施、水中景観の写真や動画、海の生物観察指導のノウハウ、海での遊び方の指導、海の生物や生態系に関する専門的知識の提供（博士号、修士号取得スタッフがいます）等

いつまでもこの海と暮らしていくために、わたしたちができること。
～Life with the Ocean かながわ～

手をかしていただけませんか。

一緒に「夢」を見ましょう。

こどもの頃に出会った海の生き物、
あの時の興奮、そして、夏の海の匂い。

自分の子や孫に同じ経験をさせてあげたいと思いませんか。

いつまでもこの海と暮らしていきたいと思いませんか。

持続可能な「人」と「海」との関わり合いを持った社会。

そんな「夢」を叶えたいと思っています。

まずは、一人でも多くの人に海とそこに暮らす生き物を見てもらう。

そしたらきっと、好きになる。

好きになったら、大切に思ってくれる。

手をかしてください。

みんなが海を好きになるように。

Discover Blue

特定非営利活動法人ディスカバーブルー

Discover Blue

特定非営利活動法人ディスカバークブルー

I. 事業テーマ

いつまでもこの海と暮らしていくために、わたしたちができること。
～Life with the Ocean かながわ～

II. 背景、目指すもの

「海」は身近な公共物として、マリンスポーツをはじめ、普段の散歩やジョギングなど気軽に利用できる場を提供する親しみのある空間ですが、学校教育でも海の生物や生態系はほとんど扱われず、普及教育システムも不十分で、海の生物や生態系を知る機会は陸上の生物・生態系に比べ極端に限られています。また、海は様々な形で利用されていますが、個人レベル、産業レベル、行政レベルにおいても、それぞれがまったく別々に海を利用し、海の生態系や環境に関する情報共有もされていません。さらに、陸上に比べて海の生態系や環境は把握しにくい上に、行政の管理も縦割りかつ限定的です。持続可能な「人」と「海」との関わり合いを構築するためには、一般市民を含め海に関わる全ての人々が公共物である海とその生態系についての理解を深め、みまもっていく必要があると考えています。

現在の海をめぐる問題を解決し、新しい持続可能な「人」と「海」との関わり合いを構築するためには、まず、一般市民の海への無知・無関心を解消し、海は公共物＝自分たちのものとしての意識を高める必要があります。特定非営利活動法人ディスカバークブルー（以下、Discover Blue）は、そのためのアプローチとして、まず、「人」と「海」をつなぐかけ橋となるために、専門的な知識をもとに、一般市民の海や海洋生物及び生態系に対する理解増進を通して、「海」のバリューチェンジを起こします。これによって、夏の海水浴や花火大会、各種マリンドイビングなど、何かを行う「場」として捉えられていたものを、未知の生物や多様な生物との出会いを通して、驚きと楽しみに満ちた世界であることを実感し、多くの一般市民に海や海洋生態系により関心を持ってもらうことを目指します。さらに、一般市民も参加して、海を知り、みまもるシステムを構築することによって、海を取り巻く社会のソーシャルイノベーションを巻き起こすことで、「海」を「守るべき遠くの何か」ではなく、「守るべき自分たちのもの」として大切にしていこうとする価値観を広めていきたいと考えています（図-1）。

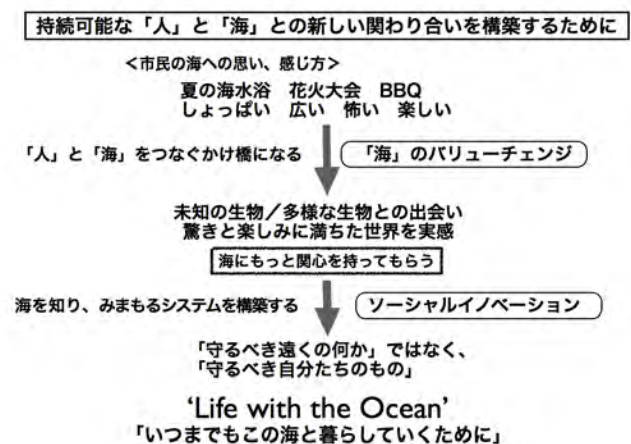


図-1 Discover Blueの課題解決へのアプローチ

Ⅲ. ディスカバーブルーの事業

- ・「人」と「海」をつなぐかけ橋となる事業

専門的な知識に基づき、生物観察会や研修等のイベントの企画実施、海中の写真や動画等を通じて、「海や海の生物・生態系を知る驚きと喜び」を提供します。



磯の生物観察会



老人ホームでの観察会



小学校での出張授業

- ・「海」を知り、みまもるシステムを構築する事業

海に関わるすべての人々が海と海洋生態系をみまもる「目」となり、市民が主体となる海をみまもる、「市民参加型海洋生態系モニタリングネットワーク」の構築を将来的に目指しています。このネットワークでは、会員をはじめとし、漁師やサーファー、ダイバー、釣り人、その他海に関わるすべての人々が、普段の海での活動を通して得た、海洋生物や生態系に関する情報をディスカバーブルーが集積し、それを学術的なデータベースへ提供することで、一般市民の普段の活動が人類の海や海洋生物、海洋生態系の知識や保全のための基礎的情報となることが期待されます（図-2）。これによって、Discover Blueが一般市民の海への想いを受け止め、役立たせることで、海をみまもることの充実感や満足感を提供することができます。

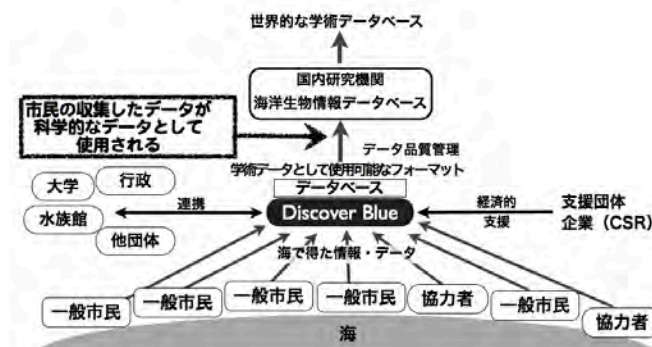


図-2 市民参加型海洋生態系モニタリングネットワーク概念図

- ・いつまでもこの海と暮らしていける社会を構築する事業

海辺の自然に対する地域住民の理解増進、ステークホルダーとの合意形成と連携ネットワークの構築、そして自然を活かした観光の振興による魅力ある地域づくりを実施・支援します。

IV. ディスカバーブルーの実績

活動実績

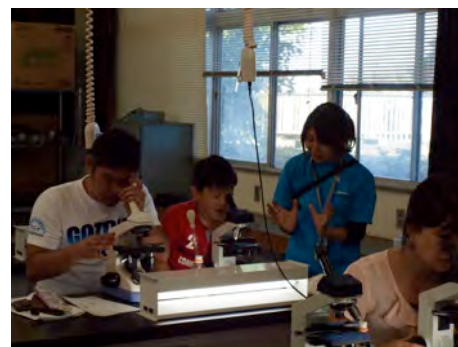
2011年2月の設立以降のべ5,000人の海とのかけ橋となってきました。

主な活動

- 小学校での地域の海の自然に関する授業
- 老人ホームでの生物観察会
- 私立中学・高校の海洋研修
- 企業の会員サービス（生物観察会）
- 神奈川県 新しい公共の場づくりのためのモデル事業（真鶴町と協働）

Life with the Ocean まなづる ～海を学び、親しむ場づくり～ 2011.10～2013.3

漁協など海に関わるステークホルダーと連携した、海の自然を活かした町づくり
のべ3,000人に海の自然や漁業などを紹介



V. パートナーの皆様とできること、お願いしたいこと。

<ディスカバーブルーがパートナーの皆様にごできること>

観察会や講座等の企画・実施

水中景観の写真や動画の提供

海の生物観察指導のノウハウの提供

海での遊び方の指導

海の生物や生態系に関する専門的知識の提供（博士号、修士号取得スタッフがいます）等



観察会等の実施



講座等の実施

海中写真を使った普及啓発ポスター



<パートナーの皆様にご期待すること>

ディスカバーブルーの活動にご賛同いただき、「いつまでもこの海と暮らしていける社会」の実現のため、一人でも多くの方に「海や海の生物・生態系を知る驚きと喜び」を伝えていただきたいと思います。形はどのようなものでも構いません。

<パートナーシップの例>

社員研修や顧客サービスとしての観察会実施

普及啓発のための共同商品開発・販売

活動の普及広報への協力

小学校等への出張授業支援

寄附付き商品の販売

活動資金、運営資金の提供

等々

上記の例にとらわれず、皆様のお持ちの資源を活用させていただけるようなパートナーシップを組ませていただければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。